令和3年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	14	事業No.	124		
事務事業名	乳幼児保健事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	保健課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
			8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市子育て応援プラン	
	法令・例規等		母子保健法	
			健康増進法	
			飯田市授乳・育児相談助成事業実施要綱、飯田市産後ケア事業（宿泊型）実施要綱	

事業目的		
	対象	子どもを産み育てることを望んでいる又は子育て中の市民
	意図	①乳幼児がその発達段階に応じて健全な育ちができる。 ②子育てについての不安が軽減できる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	近年の家族形態の変化等による家庭の養育力の低下や地域における相互助け合いの低下は、育児の孤立といった問題につながると指摘されています。引き続き、妊娠期から途切れない支援につなげるために母子保健コーディネーターの面接を全妊婦に行うとともに各関係機関と連携し、支援内容の充実を図ります。乳幼児健診では、育児不安の解消や生活習慣病予防も視点に置いた支援内容を検討し実施していきます。幼児健診（１歳６か月児以降）においては、フォローが必要な親子が増加している現状から引き続き細やかな健診・相談を行う必要があります。

3年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
◇妊娠期から出産・子育て期まで寄り添う切れ目ない支援により産後うつの予防・早期発見をし、産後のサポート体制を充実させて早期から支援をします。 （1）妊娠届出時の母子保健コーディネーターによる面接と各機関との連携により必要な妊婦へ早期に支援が届くようにします。 （2）0～2か月児全員に保健師による家庭訪問を実施し、乳幼児健診等では新型コロナ感染症拡大の中、子育てに不安を抱える保護者への支援内容の充実を図るとともに安全な健診体制を整えます。 （3）幼児健診では精神発達に関する相談が増加していることから健診当日の対象者数を適正にし専門相談を充実させていきます。健康や妊娠出産等に関する情報を適切な時期に周知します。	会計年度任用職員人件費	8,862
	消耗品費	1,107
	印刷製本費	1,125
	通信運搬費	304
	健診医師・股関節脱臼検診委託料	7,302
	産後サポート事業委託料	1,500
	授乳・育児相談助成事業委託料	1,000
	産後ケア事業（宿泊型）委託料	780
	オンライン指導委託料	150
	その他の経費	**88**

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	令和3年度 計画	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和6年度 計画	令和6年度 実績
乳幼児健診・相談実施回数	回	289							
離乳食講座実施回数	回	24							
乳幼児学級実施回数	回	510							
ライフプランについての情報提供人数	人	800							
授乳・育児相談助成件数	件	500							
産後ケア事業（宿泊型）利用件数	件	8							

3年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	22,218
国庫支出金	1,803
県支出金	988
地方債	0
その他	0
一般財源	19,427

特定財源内訳及び補足事項

（国）子ども･子育て支援交付金（１／３）　913千円
（国）妊娠・出産包括支援事業補助金（１／２）　890千円
（県）子ども･子育て支援交付金（１／３）　913千円
（県）母子保健医療対策総合支援事業補助金　75千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	9	1	3	2,644 / 0	会計年度任用職員人件費（母子保健コーディネーター）
2	1	4	1	2	1	3	6,218 / 0	会計年度任用職員人件費
3	1	4	1	2	11	1	8,876 / 0	乳幼児保健事業費
4	1	4	1	2	11	2	965 / 0	すこやか親子・子育て支援事業費
5	1	4	1	2	11	3	3,515 / 0	産後サポート事業費
6								
7								